

活動情報

取組項目

広報・啓発活動

組織名

柿木澤農地環境保全会

塩谷南那須 管内

さくら 市

活動目的：

活動内容：

地域の田んぼを守り、環境をみんなできれいにしましょう！

# 『きずな』 通信

〔第2号〕  
平成27年12月

〔農地維持・資源向上活動組織「柿木澤農地環境保全会」通信〕

## ○皆様のご協力で今年度事業を積極的に実施しています。

4月から11月までに、構成員の皆様が共同作業に参加された実績です。

区分	延日数	延人数	区分	延日数	延人数	区分	延日数	延人数
点検・調査	8	44	植栽・除草	6	126	生きもの調査	2	47
泥上げ	2	19	ごみ清掃	1	15	看板作成	6	20
草刈・篠刈	30	507	除草・排土	4	43			
補修	3	7	遊休地管理	4	5	合計	66	833

※会議、研修除く。他にホタルの観察会40名参加。

## ○今後3月までの主な事業計画

- 水路の泥上げ・除草
- 農業者意向調査
- ヨシ等の刈払い
- 野火焼き
- 施設補修（農道等の補修）
- ごみの一斉清掃ほか

## ○今年度2回目、冬花（パンジー、ビオラ）を植栽しました。

春に公民館の道路沿いに植栽しましたベゴニア、マリーゴールド、サルビアなどが色あせ、コスモス、カンナも花が終わりましたので、11月22日に冬花のパンジー、ビオラに植え替えました。天候に恵まれ35名の参加者で公民館・神社側道路沿い及び八溝ライン沿いに600本植栽しました。ご協力いただき有難うございました。



花の植栽作業に参加した皆さん



広域農道沿いほかに植栽

## ○生きもの調査に子どもたちは夢中でした。!

10月4日に初めて「生きもの調査」を開催し、子ども会育成会さんのご協力で、子ども16名、保護者、保全会役員の総勢43名が参加されました。生きもの調査は、必須事業で、県内の活動組織はほとんど実施しています。調査用具の手配から実施箇所の選定、講師との打合せなど事前準備し、安全対策などに配慮して行いました。子どもたちは、始め用水路に入るのに戸惑いながらも次第に慣れ、ドジョウやザリガニなどを触り夢中でした。まずは、地域の生きものを知るきっかけになったと思います。この調査は今後も継続して行うこととしております。

実施箇所：柿木澤農地環境保全会 代表宅前用水路

参加者：農業者19名、非農業者8名、子ども16名、合計43名

講師：藤咲雅明 先生（メダカ里親の会）

【講師のコメント】

生きもの名前	概数	生きもの名前	概数
ドジョウ	10	ニホンアマガエル	1
カワムツ	100	トウキョウダルマガエル	10
ウグイ	1	マルタニシ	10
オイカワ	20	カワニナ	50
タモロコ	20	マシジミ	30
ギンブナ	20	タイコウチ	3
スナヤツメ	2	ヒメゲンゴロウ	1
アメリカザリガニ	50	ナツアカネ	2
ウグイ	1	アキアカネ	5
オイカワ	20	ミヤマアカネ	1
タモロコ	20	ノシメトンボ	2
ギンブナ	20	ハグロトンボ	1

生きものへの関心が高い子どもたちでした。清潔な水を象徴する生きものが生息する豊かさ、地域の意識も高いので取組幅を広げて下さい。

※今回の調査でみられたもの



生きもの調査開始



何がいるかな？取れたよ！



「この魚は〇〇です」（講師）



参加された皆さん

## ○用水路付近の篠の伐採、水路の補修作業行いまし



篠の伐採作業



灌木伐採作業



水路の漏水防止目地補修



草刈作業(継続)

## ○ホタル生息地にPR看板設置しました。

前号でご紹介しましたホタルの生息地は、今日では希少な地域資源であり、この環境を次代に引き継ぎ、保全していくことが本会の象徴的な活動とも考えております。PR看板の材料「柏」の木は地元の小野節子さんの提供、表面加工・揮毫は代表自ら、屋根葺き・設置は関係者で行った自前の看板です。



材料、加工、揮毫、屋根葺き、設置すべて自前です。

## ○中間報告会、意見交換会実施しました。



12月13日に行政区の班長さんと農地環境保全会の役員で、会の活動の中間報告及び意見交換会を実施しました。これまでの活動の実績報告を行った後、意見交換会では、「住みよい環境づくりのために」など話し合いました。貴重なご意見有難うございました。今後の活動に生かしていきたいと思っております。

## ○元気に参加してます。



保全会の活動当初から、真夏の草刈作業をはじめ、花の植栽活動などに、いつも元気に参加されています。高橋正夫さん。「道路と水路、河川の境はここだよ」「冷子川の元の川幅はこのくらいだったね」などアドバイスしてくれます。長らく市の文化財「柿木澤代々神楽」保存会会長を務められ、会長職を後進に譲られた後も指導者で活躍されています。奥様も毎年広域農道沿いにコスモスの花を植え、地域の環境美化にご協力を頂いております。今後とも元気にご活躍されますように！

## ○農道の舗装

前年の大沼川沿いの農道舗装に引き続き、今年度は、冷子川沿いとその支流沿いの農道2区間の舗装工事が、さくら市と狭間田地域環境保全協議会により整備されます。地域内の農道の未舗装区間は少なくなりましたが、降雨時の軟弱路面の解消、路面の安定が図れ、草刈作業が軽減されるので有り難いです。



散歩の途中、上記の農道路面中央部で見つけたきのこツチスギタケ？間違いなければ食用、菌はどこからきたの？

## ○田んぼの生き物たち

### スナヤツメが見られました！



生きもの調査で見られたスナヤツメ。口は丸い吸盤状で、顎がない。原始的な魚類とされるが、魚類ではないとする研究者も。外見はウナギに似ており、えら穴が7つ、成長すると20cm程度。幼生期は、目がなくミミズのようにみえ、藻類などを食する。4年後の秋に成体になり、変態して眼が現れるが、一方で消化系がなくなり、翌春の産卵期を過ぎて死ぬまで何も食べなくなるそうです。  
ーヤツメウナギ科、カワヤツメ属ー

## ○ちょっと一服

「十文字に集合」草刈のBチームがよく口にします。場所を屋号でいうことがあります。他に聞くところでは、敬称略で、一本松、西車、新車、権現山、澤中、竹橋、本田、新家、上、篠原、林・・・など。道が十文字に交わっていたとか、西に水車があったとか、木が多く権現様があったのなどと聞きます。屋号は先祖名、職業名、本家・分家で呼び分けるようですが、屋号から以前の柿木澤の様子が少し想像できます。

### 【編集後記】

真夏の暑い日に「今日はウチの人が都合が悪く、草刈に参加できないから、みんなで飲んで頂戴」奥さんが冷たい飲物を持って来てくれました。有り難くいただきました。またある時には、「冷子川沿いの草刈を誰がしてくれたのかね、長年刈ってないところを刈ってくれて有り難いよ。」「八溝ライン沿いの道路縁石付近に繁茂した雑草がなくなりきれいになったね」の言葉をいただきました。今年度から手探りでスタートした活動が少しづつ前進しているのを感じています。(事務局)

編集・文責：柿木澤農地環境保全会 代表 田代 昇 (事務局 田代広三)